

ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区 地区誌

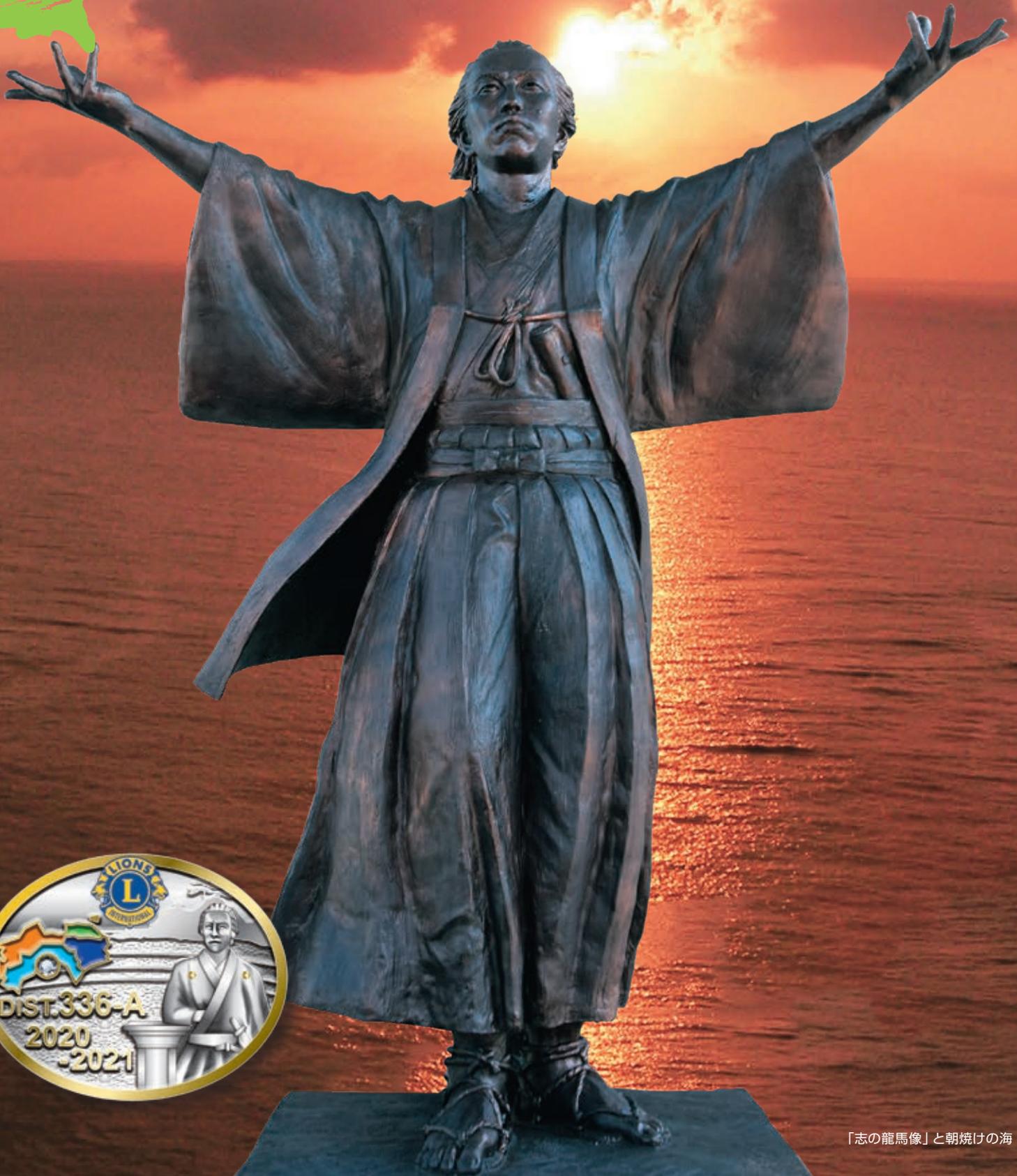
# 四国

# We Serve

The International Association of Lions Clubs

4・5・6 No.4

2021年 第114号  
令和3年6月1日発行



「志の龍馬像」と朝焼けの海



# 地区ガバナーとしての一年を振り返って

〈写真は地区年次大会〉

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 地区ガバナー 酒井 公一

2018年4月8日の第64回地区年次大会に於いて、第二副地区ガバナー予定者として信任を頂き、引き続き第一副地区ガバナー予定者として地区ガバナーエレクトトとして皆様からのご支持を得まして、2020年7月1日より、地区ガバナーとして高知キャビネットの船出を致しました。

第二副地区ガバナーから地区ガバナー就任までは、あつという間でありましたが、一方でひしひしと重圧が押し掛かり、私が今日まで経験したことのない心境でありました。

私が幸運であったことは、三役を始め歴代キャビネットの経験者が多く、優秀なスタッフに支えて頂けた事でした。これは6R、7Rチームワークの良さの賜物だと思います。本来ならば2020年6月にはシンガポール国際大会があり、

2021年6月にはカナダのモントリオール国際大会に参加をして、世界のライオンズの仲間と語り合い親交を深める予定でありましたが、コロナウイルス感染症拡大により参加が叶わず残念でした。

今期のキャビネット運営はコロナウイルスに翻弄されましたが、それでも奉仕事業は概ね達成されたと思っています。

キャビネットのメイン事業の一つである地区ガバナー公式訪問は、各RCのご尽力によりコロナ禍でありながら通常通りの訪問が出来、各クラブの会長幹事の方々と身近に接し意見交換をさせて頂き、有意義な訪問でした。

一年のメインイベントである、第67回地区年次大会も少し変則な大会にはなりましたが、満足な大会が開催されました。これも、会員の皆

様と地区年次大会委員会及びキャビネットのゆるぎない熱意の結集だと感謝致しております。しかしながらコロナウイルス感染症拡大の影響で、韓国の354-D地区から御参加が頂けなかったことは残念でした。

今期、皆様に必要な事業、奉仕目標をお願いして参りました。されて、奉仕事業の充実と会員増強に大きく寄与されました。今後の活躍に期待致します。

## 会員増強について

私は今期の会員増強目標を「純増10名以上」と日本ライオンズに約束をしました。

3名以上の会員増強を達成されたクラブには、お祝いの入会式例会に訪問させて頂きました。あるクラブには2回の入会式に出席させて頂き、10名の会員増強を達成されました。又、3クラブでクラブ支部を結成

## LCIF献金について

今期336-A地区の献金目標は57万\$でした。

LCIF献金のゼロのクラブを無くする事を合言葉に、各クラブの役員の方に呼び掛けて参りました。20\$献金されているクラブは50\$に、50\$のクラブは100\$キャンペーンに底上げを促した結果、目標の90%は達成され来期に繋がったと思います。



## INDEX

- 表紙2 地区ガバナーとしての一年を振り返って
- 6 幹事 挨拶
- 7 会計 大会委員長 挨拶
- 8 コーディネーター 1年の総括
- 10 RC 1年の総括
- 12 ZC 1年の総括
- 19 新居浜ライオンズクラブ結成60周年
- 20 松山道後ライオンズクラブ結成60周年
- 21 志度ライオンズクラブ認証55周年
- 22 坂出白峰ライオンズクラブ結成55周年
- 23 土佐ライオンズクラブ結成55周年
- 24 高松葵ライオンズクラブ結成50周年
- 25 八栗ライオンズクラブ結成40周年
- 26 新居浜ひうちライオンズクラブ結成25周年
- 27 徳島マリニピアライオンズクラブ結成25周年
- 28 LCIF 地区シェアリング交付金



表紙写真／JR高知駅の西に位置する入明駅(愛称「志の龍馬駅」)に  
2020年に建立された「志の龍馬像」と朝焼けの海

## 公共公園公共トイレ美化プロジェクト

キャビネットのメイン奉仕事業の一つであった、公共公園公共トイレの美化については336-A地区全クラブの身近で出来る奉仕事業と考えて皆様に提案しました。

一般の方の参加を含め1200名以上の会員の方々に参加を頂き、参加クラブ数も105クラブにのぼり充分に目標は達成されました。高知市内のある公園で草刈りをしたところ早速、市民の方が利用して喜んで頂いた話を聞き感動しました。

## 地区シェアリング交付金申請について

今期地区シェアリング交付金申請を3件行い、合計519万円の交付金を受けました。

1件目は、高知市に対し災害支援物資の仕分け作業に使用する、電動フォークリフトと充電用大型バッテリーを寄贈しました。金額は地区シェアリング交付金269万円通常会計より22万円、合計291万円です。

2件目は、四国四県に対して各県

100万円相当のコロナウイルス感染症防止対策用の立体式検温器サーマルカメラ他を寄贈。金額は地区シェアリング交付金150万円、地区アラート基金より250万円、合計400万円です。

3件目は、高知県本山町白髪山登山口に、登山者用の公共トイレを設置。金額は地区シェアリング交付金100万円、本山町より700万円、合計800万円です。この事業は土佐本山LCの起案による事業であり素晴らしい奉仕事業であります。

## 他の主な奉仕事業

今期始まったばかりの7月には熊本豪雨災害の発生、レバノンの首都ベイルートでは大爆発事故が発生して、多くの尊い命が失われました。この2件の災害に対しても皆様からの貴重な寄付金を送金致しました。

近い将来必ず起こるであろう南海大地震災害に備え、高知県及び徳島県と災害ボランティア支援に関する締結を行いました。

造血幹細胞移植ドナーに対して、企業の休暇制度導入を336-A地区の企業に対してお願いをし、多くの企業に登録をして頂きました。又、

国に対して妊産性罹患患者（若い夫婦の不妊治療）の保険適用の署名活動も行い4500名以上の署名を頂き国に要望を行いました。

ライオンズクエスト活動はコロナ禍で困難な中、愛媛県と高知県で地区ライオンズクエスト支援金を活用して普及セミナーを行い立派でした。

YCE活動はコロナウイルス蔓延をもろに受けて殆ど活動が出来ずに残念でしたが、役員同士の意思の疎通を常に図り、来季への伝達はしっかりと出来ました。

IT特別委員会は今期大活躍をして頂きました。リモート会議の導入他ITを駆使したキャビネット運営は素晴らしく、この活躍はコロナウイルスの副産物だと嬉しく思います。将来的にはITの導入は必要不可欠である為に、大きく飛躍し素晴らしい一年でした。

現在のライオンズクラブは刻々と変化をしており、多様性を求められる時代となってきました。今後は、地区ガバナーを先頭に会員の意識改革が求められ、改革すべき事柄と伝統を大事にして守るべき事柄の判断が重要となるでしょう。

会員の皆様はライオンズクラブに誇りを持って、挑戦し、進化を遂げ

て、ライオンズ活動の原点である奉仕を通じ、何よりも楽しいクラブ活動に精進して頂きたいと願っております。

私はキーワードを「会員ファースト」として精進して参りましたが、今こうして振り返ってみますと、常に皆様から励まされ、勇気を頂き、温かいお声を掛けて頂いた一年であつたと衷心より感謝申し上げます。

今後、私はこの一年培ってきた知識を少しでも皆様の為にお役に立てたいと思います。

キャビネット幹事、会計、事務局長、内局の皆様、年次大会委員長始め、地区役員の皆様、事務局員の皆様には深く深く感謝申し上げます。

私達のライオンズクラブは永遠に不滅です。336-A地区5500名全ての会員の皆様、明日に向かって羽ばたき頑張りましょう。有難うございました。









# 素晴らしい出会いに感謝！

336-A地区 地区キャビネット幹事 白坂 吉友



地区運営の取り組みとして考えたのが「ガバナーの基本方針」キーワードの達成でした。

## 基本方針

キャビネット幹事をさせて頂いて良かったことそれは素晴らしい仲間に出会えたことです。

酒井地区ガバナーより幹事を…と言われたのが3年前です。それ以来、同行する機会が多くなり各県に友人が出来ました。高知キャビネットが開設され、1年を振り返ってみてキャビネットの内局メンバー、各リジョン・チェアパーソン・ゾーン・チェアパーソン並びに各委員会委員長、委員の皆様に出会い、一緒に地区運営を支えて頂き、本当に素晴らしい仲間感謝です。どうも有り難うございました。

おかげさまでコロナ禍の中、酒井地区ガバナーの強いリーダーシップの下、今期予定した行事は、ほぼ達成することが出来ました。

内14クラブのみなさんと熟慮に熟慮を重ね、代議員総会という形で開催できたことはA地区140クラブの皆さんのご協力のお陰です。本当に有り難うございました。

**進化**…今期はコロナ対策もあり、ITを本格的に活用して地区運営をしてはと地区ガバナーより提案があり、早速泉委員長に相談しWeb等活用することが決定。

140クラブ協力の下ネット通信で繋がる事ができ、各種研修会、委員会等を開催することが出来ました。これは各事務局様のご尽力のお陰と感謝致しております。

**輝く未来にウイサーヴ!**…我々が未来に残すことは何か…と考えたとき、それは会員増強だと思えます。今期池本委員長が「奉仕するには人手と資金が必要不可欠。会員を増やせば人手と資金が確保され、クラブは活性化し、事業拡大することが出来る。」と強い信念を持たれています。酒井地区ガバナーの今期10名の会員増を目標に、今日現在は期首より増で頑張っておりま

**会員ファースト**…酒井地区ガバナーは常々ライオンズクラブの根幹は会員です。クラブは会員の為に、会員はクラブの為に、仲間を大切に！と言われています。会員1人1人の立場に立って、各クラブの特色を生かしながら、あなたのクラブ、あなたのやり方でを基本にクラブ運営の推進をお願いして参りました。これからもよろしくお願い致します。

幹事として何をすれば良いのかと考え、ガバナーズスローガン及びキーワードを基本に地区運営をしてきました。各々のクラブから質問や問い合わせがありました。根本はクラブ運営の為、会員の為の質問です。問い合わせがあるというのは、それだけ真剣に取り組んでおられると思えました。幹事としてどうかやってこられたのは下飯野事務局長が陰に成り協力して頂いたことにつきます。そして事務局の原さん、渡辺さん、天野さん、副幹事の皆さんのお陰です。

最後に、私の大好きな坂本龍馬は出会う達人と言われています。出会う人を自然に友人にしていって、私も達人になれるよう努力をしたいと思えます。本当に、1年間助けて頂きまして有り難うございます。感謝!!!



# コロナ禍の中での一年

336-A地区 地区キャビネット会計 岡村 敬造



振り返ってみれば、早いものであつという間の一年でした。

酒井地区ガバナースローガン

「誇り・挑戦・進化・輝く未来にウィサーブ」

キーワード「会員ファースト」で始まった2020年～2021年、新型コロナウイルス感染症拡大による第一波緊急事態宣言のさなかの4月下旬から6月上旬の次期地区役員研修会（RC、ZC、地区委員）は対面研修ができず、ZOMで、地区クラブ三役オリエンテーションはYouTubeでの研修となりました。

なにしろ初めてなもので十分意志が伝わったか（不安）、会計としては登録料が確保できない。地区費は今後のキャビネット運営は、と不安が頭をよぎりましたが結果的にはこの不安は杞憂に終わりました。クラブの皆さん地区費の早期納入ありがとうございました。

コロナ対策を十分とりながらの7月には第一回地区名誉顧問会議、GATミーティング、地区キャビネット会議での予算案（旅費、役員

活動費等）の提案。第二波の8月にはガバナー公式訪問に随行として参加いたしました。各リジョンともコロナ対策を十分とっていた上での公式訪問でした。アクリル板を挟んだ懇親会でしたが、打ち解けた意見交換ができました。ありがとうございました。

第三波の2021年2月の第三回キャビネット会議では懇親会が中止となり登録料の一部返金となりました。

キャビネットの最大のイベントであります第67回地区年次大会は緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用等第四波といわれるさなかでの開催ということで、開催方法等について二転三転し、最終的には記念ゴルフ大会は開催、交流の夕べは中止、年次大会は規模を縮小して開催することになりましたが、地区ガバナー・前地区ガバナーの入場ができましたことは心に残る大会となりました。

そして、コロナの感染が収まらない5月の第四回キャビネット会議は中止を余儀なくされました。会計としては交流の夕べの登録料、第三回、第四回の登録料の返金手続きが残っています。

このように、この一年コロナに振りまわされた一年でありましたが、地区内の名誉顧問会をはじめ地区役員、地区委員、クラブ役員会員の方々のご理解とご支援を頂きましたことに感謝申し上げます。各クラブの今後のご発展、会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

# 第67回地区年次大会を終えて

336-A地区 第67回地区年次大会委員長

山本 哲美



大会スローガン「四国は一つ」美味しいお酒と肴でお出迎え、昨年開催できなかった分もより盛大に行いたいと思っていました。無情にもコロナウイルスは終息どころか変異株ウイルス蔓延となり、MD336で地区年次大会が開催できたのは336-A地区だけでした。

酒井地区ガバナーの高岡前地区ガバナーと一緒に登壇したいとの思いもありましたので、どうすれば開催できるか知恵を出し合い、最小限に抑えて開催する運びとなりました。二転三転する変更に、6R・7Rのホストクラブの皆様には多大なご苦勞をおかけしました。

ご参加の皆様には徹底した体調管理をしていただき、クラスターを起こすこともなく無事成功裏に終了することができました。ご支援とご協力に心から感謝し、御礼申し上げます。

最後にコロナウイルスが1日も早く終息し、平穏な日々を取り戻せますよう、そして来年は高松市で盛大な地区年次大会が開催できますことをご祈念申し上げます。

GMT・GLTコーディネーター



元地区ガバナー！地区名誉顧問  
地区GMT・GLTコーディネーター

橋本 充好 (高知 柏)

試練の時を乗り越える  
リーダーと共に

酒井地区ガバナーの強いリーダーシップの下、地区GMT・GLTコーディネーターを昨年7月に拝命して1年が過ぎようとしています。

GMTコーディネーターの役割は会員増強の推進役であり、調整役でもあります。酒井地区ガバナーは、純増10名を掲げ1年間目標に向かって邁進してきました。この報告書が出来上がるころには結果が出ていることと思われるかもしれません。少子・高齢化、コロナ禍という社会現象のもと減少しているかも知れませんがその奮闘ぶりには敬意を表したいと思います。

会員の増強は、クラブ活性化の基本であり、大きな奉仕へ繋がる要素です。

折角招聘し入会してもらってもドロップアウトをさせてはなりません。後段で述べるGLTにも繋がりますので会長のリーダーシップ（気配り目配りをベースに）の発揮如何だと思えますので今後とも期待をしています。

次にGLT（指導力育成）コーディネーターについてですが、会員の方に「在籍してよかつたな」と思っているだけでよかつたな」と思っているだけの醸成や疎外感を味わせないことです。特に大事なものは会員一同が人との交わりは自分自身の成長につながるという意識を持ち鍛錬・試練と思えば苦になりません。おのずと道は開けます。

最後にGMT・GLTは強いリーダーを求めています。私の私見でございませが会長になつてもらいたい人の統投や再任を積極的に図るべきだと考えています。私も会長をやりましたが就任時は戸惑うばかりであり、ゆとりがなくその場対応が主でした。1年が終わりホツとする面もありましたが、やはりあの時こうしてよかつたのかももう一回やれば1年間を充実させたのではないかと思つています。こう思われる会員の方も多いと思われまますので再度経験をすることにより楽しいライオンズライフが待っているのではないでしょう。チャレンジヤーが現れることをご期待申し上げ、年次報告とさせていただきます。

GSTコーディネーター



地区GSTコーディネーター

山崎 勝彦 (高知)

一年を振り返り、振り返る

（基本方針）  
今期の酒井地区ガバナーの基本方針のうちGST（社会奉仕活動部門）は以下のとおりでした。

- 1 環境保全事業（公共公園・公共トイレ美化プロジェクト）
- 2 アラート委員会設立
- 3 小児がん対策
- 4 糖尿病予防
- 5 ドナー休暇制度の推進

特に「公共公園・公共トイレ美化プロジェクト」にはたくさんのクラブが参加して頂き、厚く御礼を申し上げます。今後、継続事業として取り上げるといった声も聞き、市民が憩う公園やトイレが綺麗になり、コロナ禍一服の家族連れの外出姿を見につけ、時宜になつたアクティビティになったのではないかと嬉しく思う次第です。また「アラート」との関係でも、四国全4県の社会福祉協議会とライオンズクラブが災害時協力の協定を締結できたことは、近々に迫る天災後のアフターフォローが可能となり、「市民の命を守る」課題に一歩近づけた気がいたします。

附帯して行われました高知市へのトヨタフォークリフトの寄贈は、LCIFの地区シェアリング交付金を利用したものですが、災害時の荷物の整理に大きく貢献でき

るものとしてマスクに取上げられ、製造元のトヨタからも、普段マイナーな自社製品がアラートに適するものとして紹介されたとして報告を受けるなど反響に驚いております。

（社会奉仕活動一覧表作成）  
2021年2月のアワード選考に併せて、キャビネットより各クラブに対して、各社会奉仕活動の項目、並びに開催日程及び進捗情報の問い合わせを行いました。その回答をキャビネットにて整理し、四国島内140クラブの社会奉仕活動一覧表が出来上がりました。

（活動実績の数値化）  
前項社会奉仕活動一覧表からは、各クラブ平均して年間10項目以上の社会奉仕活動を行っていることが分かりました。仮に140クラブの1つのアクティビティで、会員10名のクラブが1時間社会奉仕を行ったとすれば、一般市民の方140,000人が受益者となること、複合GST委員会が規定する受益者換算規定から算出されます。

（感謝）  
今期は各クラブにおかれましては、コロナ禍で例年どおりの十分な活動が出来なかつたことと存じます。その中でも感染防止をしていただき、活動されましたことに感謝申し上げます。

336A地区の皆さん一年間ありがとうございました。各クラブそれぞれ特色ある地域社会への貢献を継続されてきたことに「誇り」を感じております。



LCIF100ドルキャンペーンコーディネーター



前地区ガバナー・地区名誉顧問  
地区LCIF100ドル  
キャンペーンコーディネーター  
高岡 英治 (松山湯築)

コロナ禍を乗り越える

前年度から続いている新型コロナウイルス感染症拡大の中で、酒井公一地区ガバナーは7月よりスタートしたが、コロナ禍の影響でライオンズクラブ国際大会シンガポールでの就任式が中止になり、さらにモントリオール国際大会はバーチャルでの参加となり、様々な困難を抱えての一年間となりました。さて、今期はLCIF100ドルキャンペーンも3年目を迎えております。コロナ禍の影響で来期4年目も継続することになっております。

また、山田實紘LCIFキャンペーン1000国際委員長が直接寄付者の方々に感謝をお伝えする為、LCIF

寄付者感謝セレモニーを開催して各複数地区を訪問して、コロナ禍で会員達と会えずにいた多くの参加者と集い好評を博しました。

LCIFキャンペーンでは、災害援助、視力保護、青少年支援、糖尿病、小児がん、食糧支援、環境保全の多岐にわたる分野でライオンズとLCIFの活動を支えるためであり、日本でもコロナ対策や台風・豪雨災害被災地への緊急援助に機動的かつ迅速に動かなければなりません。

今期、酒井地区ガバナーはLCIFのクラブシェアリング、地区マッチングシェアリングを申請して、地域に密着した奉仕活動を実践しています。

コロナ禍の中で、336-A地区酒井ガバナーの下、140クラブの会員皆様のご協力により、日本8複合の最下位を脱し336-A地区の底力を発揮致しましょう。

次年度も皆様にとってLCIFがより身近な存在になるよう努めてまいります。



FWTコーディネーター



地区FWTコーディネーター  
村井 淳子 (松山つばき)

FWT活動への熱き思い

道前キャビネットの関野元地区ガバナーよりFWTコーディネーターの大役を拝命し、早くも3年の月日が流れました。1年目は無我夢中でした。女性リーダーの育成、人材発掘が目標なので、GMT・FWT合同セミナーを開催し、会員増強に努力しました。活動の一環としてヘアードネーションにとりかかり認識を深めていただきました。2年目の高岡前ガバナーの時には、ATM支部が誕生。活動のヘアードネーションは定着し、外貨収集で30万円集まり、愛媛大学医学部へ寄贈できました。その大きな原動力は4Rの各クラブの皆さまの熱意でした。

2年間の実績をもとに迎えた高知キャビネット。酒井地区ガバナーはパワフルで緻密な率先型の方で、役員の皆様さに「やらなきゃ」という気持が盛り上がり、やる気満々の集団となりました。しかし、全国的に新型コロナ

が猛威をふるい、安全第一と会議や委員会、周年記念式典、前夜祭や懇親会なども取りやめとなり、コミュニケーションをはかることがむづかしくなりました。しかし一年間の実績は上がったのです。主な実績をあげてみますと次の通りです。

◆ヘアードネーションは多くの方のご協力をいただきました。クラブ数54クラブ、人数は527名、特に嬉しく思いましたのは、子供さんの提供者が多かったことです。学校で校長先生から感謝状の披露もあり、同世代のお子さんが他人の心のいたみを理解し行動に移すことは教育的意図があり、何よりの心の奉仕となります。

◆外貨収集はコロナの影響で約2万3千円

◆支部は未来支部(11名)、高知紫千年支部(5名)、昨年のATM支部と合わせて3支部

◆こどもみらい古本募金は、1月末現在で、34,464円。(次回の締切は5月末です)

◆セミナー開催1回、GMT・FWT合同

◆女性会員比率336-A地区、5月末で23.02%

(これは複合地区内でトップです)  
今後支部が増加し、エクステンションへと発展することを期待しています。役務を果たすことは大変ですが、皆様の温かい心遣いのご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。次期キャビネットもFWTが定着し、女性の活躍がパワーアップして発展させて下さることを念じています。

## Region Chairperson

## 未来を拓く



1 RC  
澤田 有馬  
(松山西)

今期はコロナ感染症の蔓延という大きな試練を受けてのスタートとなりました。十分な活動が出来ない中で、ガバナースローガンを実行する事が1R・18クラブ会員の総意で、制限された中で協力して進める事が課題でした。例会開催の制限、会員増強、周年式典・アクティビティ等が中止・延期となっておりクラブ活性化に大きな影響がありました。各地域のライオンズクラブへの期待は、ますます大きくなっていると思われま。

1R内では最大の行事であった、酒井地区ガバナー公式訪問を18クラブ関係者全員でお迎えし、今期一年の目標を提出し、実践することを報告できたことは大きな喜びでした。又1R・アラート特別委員会の立ち上げに際しては、総てのクラブに協力を頂いてスタートを切る事が出来ました。この災禍を契機として次年度以降の希望のステップとなればと考えております。

今期、ご協力を頂きましたキャビネット・1Rの皆様へ感謝申し上げますと共に、今後益々のご発展、各クラブ会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。この1年間の総ての経験に感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。

## 一年を振り返って



2 RC  
白石 公成  
(新居浜別子)

今年度は当初より新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、予定通りにはライオンズ活動ができませんでしたが、7月には第1回地区キャビネット会議が開催され、8月には第1回リジョン会議を主催し、その前後にも、例会訪問やガバナー諮問委員会にも出席し、大変多忙な日々を送りました。そんなRCとしての活動を通して、地区ガバナーはじめ地区役員の皆様や2R内の各クラブの皆様と面識ができ、そして地区の役割や各クラブの活動状況や特徴を知ることができました。コロナ禍という難しい1年でしたが、それぞれ今できる活動を熱心にされていまして、2R内の会員数も増加傾向にありましたので、来期以降も各クラブ会員の皆様に粘り強くライオンズ活動を盛り上げていってほしいと思います。私自身、RCとしての役割を十分に果たせなかったところもあるかと思いますが、大変貴重な経験をさせて頂いて、学びも多く良い思い出にもなりました。今年度1年間お世話になった皆様へ心より感謝いたしますとともに、今後ともよろしくお願ひいたします。

## 苦勞・苦難続きの一年



3 RC  
正司 哲浩  
(宇和)

会員一人一人の熱意に期待してスタートした一年、いろいろなことに出会いました。

前半は、各クラブの例会訪問で、酒井地区ガバナーの意向を伝え、会員の増強、LCIF、公園等の美化運動などに力を注ぎ、それなりの効果上げてまいりました。一方で、本来ならば2020年度に解決していたであろう第二副地区ガバナー選出の問題を抱えこみ、急きよ推薦委員会を立ち上げ選任に努めてまいりましたが、脆弱な3Rから候補者を送り出すことができず残念な結果になりました。

後半には、会員の高齢化や新型コロナウイルスの影響もあって、各クラブで会員の退会が相次ぎ一クラブが解散の運びとなり、止めるすべもなく本当に残念に思っています。

このような中で、LCIFの100ドル献金に3Rの半数のクラブが協力していただいたことが救いとなりました。

3Rは、クラブ会員の高齢化、クラブの存続、ソーンの再編など多くの難題を抱えています。私はRCを最後に一線から退きますが、来期の地区役員、会員の皆さんが一丸となって物事に取り組み、3Rの「絆」を深めていただくことを願っています。

最後に、苦勞・苦難の一年間でしたが、皆様のご協力に対し深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

## RCの一年を振り返って



4 RC  
石井 純一  
(小豆島東)

昨年5月「準備リジョン会」の準備に取り掛かる。何から始めたらいいのか、何を準備するのかさっぱり分からない。思いつくままの準備をし、会議に挑んだ。少しホッ

22クラブの例会訪問が始まる。私が小豆島からの訪問で夜の例会ならば、最終便に間に合わない、宿泊が多くなると思いきや、多くのクラブで時間を調整していただき、感謝感謝。10月上旬例会訪問終了。その間、委員長スクール、ガバナー公式訪問があり、多忙な期間であったが、地区役員・委員の皆様が積極的に協力していただき、無事乗り切ることができました。このあたりから雲行きが怪しくなる。薬物乱用防止研修会、新会員オリエンテーションの予定が決まらない。日本中がコロナ対策で自粛モードが高まり私の判断で延期、中止を決定、皆様にご迷惑を掛けました。その分、アワード予備選考には各クラブから届いた書類隔々々で目を通し、リジョン会議にて慎重に選考しました。ドタバタの1年でしたが、高知キャビネットの皆様、4Rの役員・委員の皆様、各クラブの皆様にご協力いただき厚く御礼申し上げます。



## 心に残る2020年



5 RRC  
平田 治由  
(うた)

新型コロナウイルスは当期も猛威を振るい、就任前からの諸活動の雲行きが悪き「どうなる? 何とかなる! 何とかする!」の気持ちでRRCに就任し早や役務終了となります。脳裏への刻みは強く、役割、責務も知らない時期に(今も十分に分かりませんが…)RRC研修会や委員長スクールの開催など思慮・判断に苦しむ事象に臨み、期首よりコケた状況でした。COVID-19に頭を叩かれ、気持ちを痛めつけられ、腹部を殴られ、変異株によりアップパーカットを受け、ノックダウン寸前と言っても過言でないと思っています。しかしながら、酒井地区カバナーの姿勢や高知キャビネットを支える方々の取り組みには心動かされました。例会訪問は半数程、地区カバナー公式訪問は十分でないなど、RRCの責務を果たしていない悔しさと厳しい状況における各クラブの有難い支援・協力への感謝など複雑な気持ちが入り混じった1年でした。難局の踏破は、顧問の方々や地区役員・委員、各クラブの支援・協力のお陰であり、御礼申し上げます。また、酒井地区カバナーにも逆に支えられ、高知キャビネットの皆様方にもお世話になりました。貴重な経験はCOVID-19の副反応かもしれない。ライオンズのメンバーで良かったと記載できる今が至福の心境であり、今後の諸活動に少しでも寄与すべきと思っています。多くの学び・経験など意義ある期であり、締めの一言は、「ホッ」としています。お世話になり有難うございました。

## この1年を振り返って



6 RRC  
溝淵 康夫  
(高知柏)

昨年4月28日、次期RRC研修会がウエブ会議にてスタートしました。1丁音痴である私は、何とか「すっこけないように」との思いで緊張して参加しました。以降、酒井地区カバナーの最初の公式訪問が、6リジョン全16クラブが一堂に会して元氣よく開催することができました。今期の最重要基本事業「公共公園、公共トイレの美化活動」は、一致協力して完了しました。例会訪問に関しましては、各クラブの自然の姿を目にすることが出来、非常に勉強になりました。LCIF 献金ゼロクラブを、曲がりなりに無くすることができました。会員増強については、必死の努力にもかかわらず結果が出せず口惜しい思いをしていたところ、高知ライオンズクラブさんが10人のメンバーからなる将来性が期待されるクラブ支部を結成され、明るい希望を持つことが出来ました。この1年コロナウイルス禍の下、なんとか事業が遂行できたのは、ライオンズの根本に流れる、友愛と他を思いやるあたたかい心であると痛感しました。

最後に、6 R役員、委員の皆様、各クラブの会長、会員の皆様方ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

## 退任挨拶



7 RRC  
細川 拓史  
(高知鷹城)

執筆時点、世界ではコロナウイルス感染者数が1億5000万人を超えました。私はこの1年、感染防止に注意を払い、極力接触を避け過ごしました。感染すれば周囲に迷惑を掛けるからでした。リジョン・チェアパーソンとしては、会員増強とともに、100\$ 献金の理解が得られるようリジョン内で伝えて参りました。LCIFがライオンズ組織の根幹であると改めて勉強し直し、日本で暮らす限り想像のつかない貧困生活をしている無数の方々の助けになることが確信できたからです。ただ私が努力したことはそれだけです。後は、ゾーン・チェアパーソンを中心に、各委員の能力にすべてを任せました。委員の皆様は、諮問委員会、例会訪問等で、熱意をもってお話し下さり、信頼できる7 R各ゾーン・チェアパーソンは今期指針を正確に伝え、進捗を把握してきました。この1年間、何とかリジョン・チェアパーソンの役割を果たすことができたのは、全てゾーン・チェアパーソン、委員の皆様活躍のお陰でございます。最後のリジョン会、諮問委員会では、密を避けて想い出話に花を咲かせましょう。有難うございました。

コロナウイルス感染を恐れたことは、7 Rに属するクラブ会員も同様でしたが、制約された活動のなか、7 R内全てのクラブが努力したこの1年間でした。この1年間で7 Rを益々好きになりました。

ライオンズクラブ会員の皆様、ライオンズ活動を通じ、これからも自分自身の誇りを高められますように。

## 力を一つにした1年



8 RRC  
齋藤 翠  
(石井)

本来ならオリンピックイヤーであったこの年、そして世界を恐怖に落とし入れた新型コロナウイルスが蔓延したこの年に8 Rのリジョン・チェアパーソンをお引き受けしました。この様な状況の中での活動には、的確な執行をめざすため、まず地区役員・委員との情報交換の場としてSNSを利用した、ライングループを立ち上げました。その結果、会議の相談等色々な話題を共有することが出来親交も深まりました。情報も早くなり良い結果になったと思います。

この1年はコロナに配慮しながらの運営でしたが、リジョンとして計画とありの事業が実施出来たと思えます。まず、例会訪問ではカバナーの基本方針を伝達し、各クラブに合同奉仕事業の主旨を説明するなど理解と協力をお願いするたため、地区役員・委員9名で全クラブを訪問致しました。特に、8 Rチャリティーゴルフコンペでは過去最高人数のエントリーを頂き、その時の寄付金を豪雨災害支援金としてLCIFに献金致しました。また、徳島県社会福祉協議会との災害ボランティア支援協定の締結並びにコロナ対策支援事業では徳島県にコロナ対策の備品を贈呈したことがあげられます。実施にあたっては、キャビネットを始め地区役員・委員及び各クラブ各位のご協力の賜と感謝申し上げます。おわりにご指導ご助力を頂いた方々に、心から御礼を申し上げます。

## コロナウイルス禍の中での We Serve



9RC  
安倍 昭公  
(神山)

9RCをお引き受けさせて頂き1年間、今期は昨年よりの新型コロナウイルス感染拡大のためにライオンズクラブの活動に於いて例会の中止・縮小・アクティビティ等の制約を受けての出発となりました。

特に、ガバナー公式訪問においては紆余曲折がありました。各クラブ会長の皆様、ZC、地区委員、各クラブ会長様、会員のご協力を得て無事に実施することができました。

又、各クラブへの例会訪問についても会長様を始め会員の皆様のご支援を頂き全クラブ訪問することができました。感謝申し上げます。

第67回地区年次大会においても参加会員の縮小となりましたが、代議員選挙も滞りなく行われましたが、第4回キャビネット会議は中止となりました。

感染拡大が止まりません。第4波が猛威をふるい緊急事態宣言がこれまで3回にわたり発出され、政治的・社会的・経済的に悪影響を及ぼしています。

会員の増強もままならない状況に陥っており、退会者をいかに防止し会員の維持に務めることが命題となっています。コロナ禍の中、会員の皆様に支えられ充実した1年でしたが、何もできずに迷惑をおかけしたことを詫言ひするともに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの1日も早い終息を願っています。ありがとうございました。



## Zone Chairperson

### 退任挨拶



1R-1ZC  
戸田 善文  
(松山城山)

昨年5月ゾーン・チェアパーソンとして様々な研修が始まると心構えをしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一番初めの会議がZOOM開催との連絡を受けひどく動揺したことがつい最近の事のように思います。

今までのライオンズ活動とは違った1年になると感じておりましたが、やはり今年度も未知なるウイルスに翻弄されました。

そのような中でも前半は1ゾーン5クラブの例会へ訪れ、我がクラブとは違った例会の様子を楽しむことができ、第一回諮問委員会では1ZCがホストクラブとなり会議を無事開催することができました。

後半は残念ながら、なかなか会議での懇親会が開催できず、3月に入ってから会議そのものも中止が相次ぎました。活動としては例年に比べ寂しい気も致しますが、WEB会議等新しいライオンズの形が見えた一面もありました。

このような社会情勢の中、澤田1RCをはじめ、藤岡2ZC、梅林3ZC、また1ゾーン各クラブの皆さま、ご協力いただき深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

### この一年を振り返って



1R-2ZC  
藤岡真須雄  
(松山湯築)

ゾーン・チェアパーソンとしての任期が終わろうとしています。先行き不透明なコロナ禍の中、あつという間に過ぎた1年でした。この間、キャビネット構成員として行事に参加しながら、地区全体の流れも少しは分かるようになってきました。

特にキャビネットとクラブにおける意思統一の大切さを再認識しましたし、またその難しさも痛感しました。これらの経験を今後、クラブ内の奉仕活動の中で活かしていきたいと思えます。

ゾーン・チェアパーソンはキャビネットとクラブのパイプ役の中でも一番クラブに近い存在であり、クラブ会長のよき相談相手としてその職務を果たさなくてはならないという気持ちで動いてはおりましたが、それも満足にでき得ぬままの引継ぎとなりそうです。

今期は2ゾーン恒例行事となっておりますが、合同例会を中止することになり本当に残念でした。来期は盛大に開催され、皆がライオンズマンとして親睦を深められることを願っております。一年間ありがとうございました。



今こそ勇氣ある変革



1 R-3 ZC  
梅林 哲次  
(松山白鷺)

昨年7月にコロナ禍の中、高知キャビネットがスタートしました。ガバナー公式訪問、例会訪問と十分な感染対策をして無事終えた頃には、後半になったら各クラブそれなりの活動を開始できるのではないかと期待しておりました。ところが、今になっても次々と現れる変異型が猛威を振るい、依然先が見えない状況が続いています。

このような状況の中、酒井地区ガバナー、各クラブの会長さんはその都度厳しい判断を強いられました。正解が見いだせないところでの決断の難しさを目の当たりにして今後のライオンズ活動の方向性を考え直す1年になったのではないかと感じました。

さて、今期の1 R 3 Zの諮問会議においては、各クラブの状況、悩みをできるだけご披露していただき活発な意見交換をすることが出来たと思います。これを機に各クラブの独自性を維持しながら、クラブ間の交流を促しスケールメリットを生かした合同アクティビティ等を模索していくべき時代が来たのではないのでしょうか？

最後になりましたが、厳しい状況下の中でも3 Zのほとんどのクラブが会員数減少することなく運営していただいたことに対して心から感謝いたします。1年間、本当にありがとうございました。

一年を振り返って



2 R-1 ZC  
塩崎 安規  
(新居浜ひびく)

今期はコロナ禍で始まり、コロナ禍で終わりです。昨年の5月次期ゾーン・チエーパーソンWeb研修会に始まり、委員長スクールや準備ゾーン会議を終えて、7月には第1回キャビネット会議が無事開催されました。その後ゾーン内例会訪問、ガバナー公式訪問、336 A地区LCIF説明会、10月8日世界ライオンズ奉仕デーは台風が接近する小雨の中、早朝より黒島海浜公園の清掃活動、4クラブ合同例会を実施することができました。11月下旬よりコロナの影響が始め、1 Z親善ボーリング大会、4クラブ合同夜間例会・懇親会、糖尿病啓発講座の中止、思うように活動ができませんでした。第4回キャビネット会議、2 R 3 Z年次会合も中止となりました。2024年7月(約3年後)には2 R 3 Zゾーンに第二副地区ガバナー選出予定です。そのことを意識しながらゾーン内各クラブ役員の方々は、活動していく必要があると思います。最後に1 Zゾーン4クラブの益々の発展と、会員の皆様のご健勝ならびにご活躍を心からお祈り申し上げます。1年間ご協力ありがとうございました。

一年間の活動を振り返って



2 R-2 ZC  
二宮 幹雄  
(今治)

この一年間、2 R-2 ZのZCを無事につとめることができましたことを白石2 R Cはじめ、2 R内各ZC、各委員の皆様にも厚くお礼申し上げます。様々な会合を通じて2 R地区役員さん達との出会いを頂き大変楽しい一年でした。

一年前自分なりの目標として「キャビネットとクラブを繋ぐ橋渡し役」と題してスタートし、私自身もキャビネット会議、研修会等を通じて「ライオンズクラブ国際協会所属」としての知識を深めることができました。それらのことを橋渡し役として正直、物事を伝えることの難しさを痛感いたしました。

また最近「新しいライオンズ様式」という言葉をよく聞きますが、このことは今後のあるべきライオンズの形という意味で受け取るのが普通でしょうが、それは本来長い年月をかけて形作られていくものだと思います。「長期的な対策」が必要でしょう。

最後にこの一年間、ご指導ご協力をいただいた方々に心よりお礼申し上げます。

一年を振り返って



2 R-3 ZC  
石川 哲三  
(川之江中央)

昨年5月のZCウェブ研修会に始まり、とにかく新型コロナウイルスに影響を受けた一年間でありました。

ゾーン内の各クラブにおかれましては、例会の開催を自粛されたり予定されていた様々なアクティビティが縮小や中止にいたるところもあり、思うようにクラブ活動が実施できない状況の中、公共公園の清掃作業をはじめ出来る限りのアクティビティに賛同していただいて、実施されたことに感謝申し上げます。

会員数の減少も危惧されておりましたが、皆様方のご協力のおかげで何とか最小限にとどめることが出来そうです。今後とも会員維持に努めてまいりたいと思います。

未だ新型「コロナウイルス」の終息が見えない中で、「新しい生活様式」を求められていますが、ライオンズクラブとしても時代に応じた変革を進めていかなければならない様々な課題があるように思われます。

最後に、この一年間ご指導、ご協力をいただいた皆様心より御礼申し上げます。

この一年を振り返って



2R-4ZC  
倉田 哲男  
(西条右鏡)

「非常事態宣言」「まん延防止宣言」、これらの言葉に翻弄された一年間だったように思われます。  
なんとか出来ないか、中止にするべきか？

一年間、悩みながらの活動でした。国際協会、ガバナーの意向をどのように、お伝え出来るのか切磋琢磨し、モチベーションも下がる中、非常に大変苦労いたしました。

それも気が付けば早いもので、任期満了となりました。

リモート会議から始まり、会合等の中止、自粛と、中々不完全燃焼ですが、大変貴重な体験、経験をさせていただきました。

キャビネットを始め、リジョンの皆様には、大変お世話になりました。

次年度のキャビネット役員の皆様、まだまだコロナの出口が見えない中ですが、ご健闘をお祈り申し上げて退任の挨拶といたします。

一年間、ありがとうございました。

この一年を振り返って



3R-1ZC  
實藤 武  
(宇和)

この年間3R-1ZC、ゾーン・チェアパソンの役を務めさせていただきました。  
しかし、コロナの影響で各クラブの周年事業がすべて中止になり、思うように活動が出来なくて大変な年で残念であります。

それから、月には内子ライオンスクラブの森本会長様の奥様で家族会員になられていた方が亡くなられ感謝状をお届けして、三ヶ月もたない内に会長様本人も後を追うように亡くなられ、また感謝状を届けなければいけないという、辛く悲しい出来事がありました。会長様には生前には何かとお世話になりました。ご冥福をお祈りいたします。

また私事ではございますが、結婚して43年、会社を設立して40年の私達夫婦は会社を休むことなく元気でしたが、去年の11月に家内が二週間ほど入院を致しまして、また私本人も生れて初めて今年の三月に二週間ほど通院入院を致し、いまだに通院と大変な思いをしています。しかも退院したあとは食事制限がされていて、ライオンスクラブの例会又キャビネット会議にも出席が出来なくて迷惑をかけております。

しかし、3R-1ZCは、3月末現在このコロナで大変な時に6名の増をはたしました。また3R-1ZCの4クラブ内の3クラブは100ドル献金に、1クラブは50ドル献金に協力をしていたいただきより感謝致しております。

最後に、この二年間、支えていただきましたゾーンの皆さま、またクラブの方々には心より感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。

1年を振り返り、今思うこと



3R-2ZC  
井上 喜樹  
(伊方)

年度当初、夏ごろには終息するだろうと安易に考えていた新型コロナウイルス感染症が、まさか1年を経た現在もなお、日本国内において変異しながら感染し続けているとは、全く想定外でした。この1年、各クラブにおいては、例会をはじめとして各種事業、行事が変更や中止となるなど、大きな影響を受けました。ゾーンにおいても、今期企画した会議や事業が予定通りに開催、実施できなかったこと。特に、懇親会など、クラブ間の会員交流の機会が制限されたことは、本当に悔やまれます。

また、正司3RCにご苦勞をお掛けした第2副地区ガバナー候補者推薦については、結果として、推薦候補者なしとなりました。これは、リジョン内の認識のズレと引き継ぎの不味さもありませんが、それ以前に、3R内のクラブの規模と会場や施設の問題など、それを受け入れる基本となるキャパシティの不足が大きく影響しており、将来の推薦もかなり難しいと思われれます。

結びに、この1年間、ガバナー諮問委員会などの開催にあたり、正司RCはじめ地区役員、地区委員、クラブ役員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

退任の挨拶



3R-3ZC  
佐川 国彦  
(伊予吉田)

昨年7月、3R-3ZCのゾーン・チェアパソンの就任し、この一年何とかチェアパソンの仕事を務めさせていただきました。  
地区役員は、ゾーン・チェアパソンが初めての役職なのでわからないことばかりで、戸惑うことも多く、至らない点が多くあったと思っております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画通りに活動ができず、後悔することばかりです。

そんな中でも、ゾーンレベルでの諮問委員会は実施できましたが、クラブ役員との交流や情報交換を円滑に行うための懇親会が開催できなかったこと、各クラブの意見や方針をリジョンやキャビネットに伝えていくことなど、十分にできず、各クラブの皆様には申し訳ない気持ちでいっぱいです。

4月11日、高知市で開催されました第67回地区年次大会では、指名選挙の係を担当しました。そのときやっと、「自分はゾーン・チェアパソンをしているんだな」という実感が湧いてきました。あっという間の一年でした。

コロナ禍の中で開催し、成功を収めた今期の地区年次大会。地区ガバナーはじめ高知キャビネットの役員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

最後になりましたが、3Rの地区役員の皆様、3Rのクラブ会員の皆様へ感謝を申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



## 今期の総括



4R-1ZC  
**川田 博文**  
(高松葵)

今年度に於いても、新型コロナウイルスの影響で各クラブが活動してきた伝統のあるまた個性豊かなアクティビティ等の開催並びに実施が、数多くキャンセルとなりましたことは世界レベル共通の現実であったと思います。

その中で、感染拡大等に嚴重警戒し実施されました年次大会は、規模縮小ではあったものの、336Aの皆様と再会でき、非常に嬉しく記憶に残っています。また影響はライオンズムのモットーである「We serve」これは集団で奉仕すると言った特徴です。日本では3密禁止と言った集団感染拡大防止!!が我々の一番の胆の部分である行動に自粛の号令がかかりました。この影響で会員のライオンズクラブに対する意識の低下が非常に懸念されました。前期よりその空気が感じられましたのでZCCとして第一回目の諮問委員会より、コロナに負けない新しいアクティビティの開発を各クラブにお願い致しました。その中でへのアドネーションアクティビティは、少しずつ定着し来期には、名誉ある数字を見ることが出来るのではないかと非常に期待しております。

今期一年、すべてのメンバーの御尽力と御献身に心から感謝申し上げます。

## 1年間を振りかえって



4R-2ZC  
**高橋 伸治**  
(八栗)

新型コロナウイルス。コロナ禍。活動自粛。3密。ソーシャルディスタンス。緊急事態宣言。パンデミック。テレワーク。ZOOM会議。PCR検査。GoToキャンペーン。雇用調整助成金。変異型ウイルス。ワクチン接種……。

毎日コロナが頭から離れることはない特殊な日常の中、ライオンズクラブの活動を工夫して実践している各クラブのみなさんには頭が下がる思いでした。ZCCとして各クラブにお願いしたこととしては、メンバーの健康を第一優先として活動してほしいこと、高知キャビネットの公共トイレの美化プロジェクトの実施、LCF100ドルキャンペーンの目標達成実現のための協力でした。いずれも各クラブが協力して結果を出してくれたと感謝しています。

きつと来期は今年できなかった想いを爆発させ積極的なアクティビティを展開していくと期待して、次期のZCCに引き続きをしたいと思えます。

## 一年を振り返って



4R-3ZC  
**藤原 正雄**  
(高松グリーン)

昨年7月からゾーン・チェアパーソンという初めての大役をお受けし、あつという間の一年間でした。十分な活動が出来かねました。

私は新型コロナウイルス感染拡大によるライオンズクラブの運営の変化に対応するゾーン・チェアパーソンとしての判断に戸惑う事ばかりでした。

しかしながら、我がゾーンの各クラブは三役を中心としたクラブ運営を会員の安全を考慮し、適切な奉仕活動が展開されました。これは、日頃からのクラブ間同士、クラブ内会員同士の意思疎通が充分になされているからだと感じました。

さて、ワクチン接種はまだまだ、時間を要すると思いますが、いつかかつての様な活動がなされる時が必ず来ると信じています。その時が来るまで私たちライオンズマンは活動時の会員の安全を第一にして、本来のボランティア活動に邁進すべきだと思います。

最後に、私自身の力不足を感じた一年となりましたが、ZCC任期を過ぎることが出来ました。本当にありがとうございました。

## 2020年度の総括について



4R-4ZC  
**田中 元**  
(高松空港)

多くの会員及び事務局の皆様を支えて頂いた事に感謝を申し上げます。今期は、各クラブにおいて新型コロナウイルス感染拡大の影響により例会、理事会、奉仕活動、周年行事等の中止あるいは延期、縮小を余儀なくされる状況でした。しかし、例会運営についてはWeb会議システムを活用してオンライン開催をはじめ、新技術を活用した取組みにチャレンジし、ライオンズムの向上に貢献して頂きました。高知キャビネットの基本事業の一つである「公共の公園・公共トイレの美化プロジェクト」にも各クラブ奉仕活動を推進してまいりました。一番印象に残りましたのは、ウィサープの精神が会員の皆様に浸透し一人ひとりの奉仕の思いがひしひしと伝わり感激致しました。今後、この過去にない世界的な危機的状況の教訓としてライオンズクラブの在り方も考え直す必要があり、新しい暮らしのスタイルの実現に向けこれまでの経験に頼ることから創造力に頼る活動が求められると感じています。最後に皆様のご健勝をご多幸をお祈り申し上げます。本当に一年間ありがとうございました。

退任挨拶



5R-1ZC  
松浦 孝仁  
(丸亀)

いつの時代も過ぎ去れば、月日の経つ早さを感じるばかりですが、この一年も同様でした。5R-1Zのゾーン・チェアパーソンとして7クラブのメンバーのお役に少しは立てればという思いと、送りだしてくれた丸亀ライオンズクラブに迷惑だけはかけてはならぬと自分自身に言い聞かせて臨んだ2020年7月でした。振り返れば、このコロナ禍の中にあっても、もっと工夫できたのでは…?とか、コロナを恐れすぎたかな?と思ってみたり、いやコロナをなめてはいけない!と思ってみたりで一年が終わってしまったのが実感です。

しかし、平田RCの下、多くの1Zのメンバーと親しくお話が出来たことがこの一年の財産になりました。各クラブともに、コロナ禍にあっても懸命にライオンズマンとしての役割を全うし、かつ、例会、アクティビティを何とか開催する為に工夫を凝らしたことは、5R-1Zの歴史に刻まれることと思っています。丸亀ライオンズクラブのメンバーの皆様、大変良い機会を与えていただき心から感謝申し上げます。

ありがとうございます。

ゾーン・チェアパーソンを終えて



5R-2ZC  
小野 貴史  
(普通寺)

本年度、ゾーン・チェアパーソンをさせて頂くに当たり、ゾーン内の会員の皆様が楽しくやりがいのあるライオンズライフのお手伝いができればと考えていました。しかしコロナ禍という今までに例を見ない状況の中で、ゾーン内各クラブとも例年の様な活動ができずに苦慮しました。私も例会訪問が出来なかったり、ガバナー諮問委員会では、参加人数を減らしたり、懇親会を中止したりといったとは違う会を余儀なくされました。

そういった中、リジョン・チェアパーソンの平田さんや1Zの松浦ゾーン・チェアパーソンに助言して頂き何とか大過なく終えられそうですが、ただ一つ残念なのは、他クラブの多くの人達とも懇親を深めたかったのですが、それが叶わなかった事です。

最後になりましたが、このコロナ禍が少しでも早く終息することを心から願って、1年間の総括とさせていただきます。

感謝の一年



6R-1ZC  
五藤 博子  
(高知桜)

今期初の研修会がウェブ会議で始まり、先行きが少々不安な気持ちと未経験なことに挑戦するわくわく感もある出発でした。

出来ない制約のある中、出来ることを模索するところに新しい道が拓ける、そんなことを感じられた一年でした。

例会訪問も各々のクラブに特色があり、会長、幹事が力を合わせ工夫してクラブを運営していく様子に、沢山元気をいただきました。しかし各クラブの高齢化は顕著で、若い世代の入会者を増やさなければクラブの活性は難しいという思いです。コロナ禍の今、会員増強は大変厳しいものがあります。しかしゾーンのクラブで、支部クラブを作り将来の会員を育てるというクラブがありまして、このやり方はこれからのお手本になるのではと思います。

色々なクラブとの交流によって、新しい情報を得る機会も増えます。

自分のクラブの中だけでは体験出来ない貴重な体験や友との出会いがあり、RC、各クラブの事務局員さん達にささえていただき、多くの会員さんのご協力のおかげ様で何とか終えることが出来ました。

感謝の気持ちでいっぱい입니다。

この一年を振り返って



6R-2ZC  
川崎 まり  
(佐川越知)

今期はコロナで始まり、コロナで終わったいつもとは全く違う一年でした。何をしてもいかもわからないまま、ウェブ会議や書面決議、会議は出来ても懇親会は無し、そんな中で出来る事を積み重ねた一年だったと思います。

この年6R-2ZCとして何とか活動できましたのは、酒井地区ガバナーを始め、キャビネット役員の皆様、特に溝渕RC、そして関係クラブの皆様のご指導、ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。慣れない事ばかりで、その度に先輩方に教えを請いながらの一年でしたが、各クラブ訪問では温かく迎えて頂き、それぞれのクラブが地域に密着したアクティビティに取り組んでいる事、例会の出席者が増やす工夫などをお伺いし、大変勉強になりました。また、各クラブの皆様が会員の高齢化や減少に対して、クラブの将来を見据え色々な方法を模索している姿に奉仕活動を継続していく事の大切さを強く感じました。

今期、私は特にヘアドネーションの活動に取り組みました。一般の方への協力を求めたことにより、ライオンズクラブの活動への理解が少しでも広まったように思います。これからも、自分の周りで出来る事をしながら、ライオンズクラブ活動を続けていきたいと思っております。

この一年を支えていただいた皆様、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。



## この一年の活動を振り返って



6R-3ZC  
金谷 光人  
(四万十)

「誇り・挑戦・進化・輝く未来にウィサーブ」「会員ファースト」のスローガンのもと、昨年7月に任命されてから、間もなく一年となります。酒井地区ガバナーをはじめキャビネットの皆様のご指導、そしてゾーン内クラブの皆様のご協力を得ながら、無事終えることができました。本年は、新型コロナウイルスの影響による会議等の中止やWeb会議の開催により、残念ながら皆様に直接お会いをし、生の声を聞くことが少なかったのですが、そのような中でも、クラブの皆様現状や抱える問題をお聞きしますと、やはり会員増強には大変ご苦労をされているように思いました。コロナ禍において、例会やアクティビティの開催も難しくなっておりませんが、それぞれ工夫を凝らしながら頑張っている話を頂き、私自身もたくさん刺激を受け、大変充実した一年間となりました。

今後この一年間の経験を活かし、ライオンズムの高揚を図っていきたく思っております。

期中お世話を受けた全ての皆様に感謝を申し上げ、また新型コロナウイルスの一日も早い終息を願い、退任の挨拶とさせていただきます。

## 退任の挨拶



7R-1ZC  
徳武 孝  
(室戸)

ゾーン・チェアパーソンに就任して早いもので1年が過ぎようとしています。就任してからはガバナー諮問委員会、クラブ例会訪問など色々な行事に参加。私としてはゾーン内のクラブ訪問を2回したいと思い、年末年始に考えていました。がコロナウイルスの影響で各クラブの例会が取り止めとなり2回目の訪問ができなかったことが残念です。

就任の挨拶の中で、最後のご奉仕と書きましたが、任期の途中で私の個人的な問題があり酒井地区ガバナー、細川リジョン・チェアパーソンに大変なご迷惑や心配を掛けて申し訳なく思っています。

なんとかこの1年間乗り越えましたが、この任期中にコロナウイルス問題で最後のご奉仕が満足にできなかったことが残念ですが、各クラブの皆様のおかげで無事に終える事ができました。本当にありがとうございました。

## 1年を振り返って



7R-2ZC  
佐竹 佳雄  
(高知南)

今期、7R-2Zゾーン・チェアパーソンのお役を承つて残すところ2か月となりました。役をお引き受けするにあたって、少し躊躇するところがありましたが、日ごろ大変お世話になっている酒井公一様がガバナー就任ということでもあり1年間ZCとして頑張ってみようと思えました。

ガバナー「スローガン」誇り・挑戦・進化・輝く未来にウィサーブのもと1ゾーンの徳武孝ZC、3ゾーンの山崎辰郎ZCと一緒に活動してまいりましたが、やはりコロナの影響でその活動に少なからず制約があり、4月の年次大会さえも大幅な規模縮小となり本当に残念でした。山本哲美大会委員長の心中を察します。

会員減少等ライオンズクラブとして課題は沢山あります。ZCとしての役は降りますが、今後は1会員として活動していきたいと思えます。

最後に2Zの高知黒潮LC、土佐山田LC、土佐本山LC、高知よさこいLC、そして高知南LCの方々に私を支えてくださった御礼と感謝を申し上げ1年間の総括といたします。

ありがとうございました。

## 人生の宝



7R-3ZC  
山崎 辰郎  
(高知安芸)

高知安芸LCに入会して5年弱の経験しかない私が、ZCという大役に任命され、はや一年が経過しようとしています。役職名は宋えあるものの本人の私は、知識不足、経験不足に加え、キャビネット内に知っている人も少なく、任命後から皆の足手まといになるのではないかと不安の日々でした。

何とか皆の迷惑にならないようにと、少しづつ勉強を始め、ゾーン内の例会訪問などによりだんだんと知り合いも増えだし、またLCや他の先輩役員、他クラブのZC経験者からの温かい指導も受け、ゾーン内クラブの会長さんをはじめ多くの皆さんから協力をいただき、何とかこの役を終えることができました。

コロナ禍は、本年もライオンズ活動に影響を与え続けましたが、そういった中でも、できる活動をコツコツと各クラブは前向きにやられたことに対して心から敬意を払いたいと思っております。

この一年、ゾーンのみなさん、沢山の会員さんと心を通じることができたのは、これからの私のLC活動のみならず人生の宝となります。

皆さん、お世話になり本当にありがとうございました。

1年を振り返って



8 R - 1 Z C  
豊永 寛一  
(徳島マリンクラブ)

まず、はじめに、今回、地区役員をご一緒した齋藤翠R C、竹内安彦Z Cほか地区委員の皆様と1年間ご一緒できて色々なお話を聞かせて頂き、楽しいことばかりで、本当に有難うございました。ただ、コロナ禍で、例会訪問において懇親会の開催が少なく、各クラブの皆さんとお酒を一緒に飲む機会が少なかったことが心残りです。また、酒井地区ガバナリーの取り組んでおられた公共トイレや公園の清掃について、コロナの感染予防の観点から積極的に各クラブにお伝えすることができず、忸怩たる思いが残っております。ただ、Z Cとなりまして、ライオンズクラブが行っている種々のアクティビティ、ヘッドネーション、古切手の収集、L C I Fの詳細な内容、古本募集、アイバンクなどについて詳しく勉強でき、いかにライオンズクラブが世界や日本に貢献していることを知り、私自身いい刺激を受け、またライオンズクラブに所属して奉仕できることに一層の誇りしさを感しました。この経験を今後のライオンズクラブの活動に生かしたいと決意を新たにしました。

厳しい時代に向かって



8 R - 2 Z C  
竹内 安彦  
(徳島城山)

新型コロナウイルスの流行に伴い、全世界感染拡大の為、各イベント中止、又学校の休校、経済活動の縮小など様々な措置が実施されています。苦難な状況の中、酒井公一地区ガバナーは船出を致しました。力強いあいさつの中、我々は心強くガバナーの方針に向かっていくことを心に決めました。環境保全事業として、公共トイレ美化プロジェクトを実施する旨、又、台風シーズンに備え災害が多く発生していることを踏まえてアラート委員会の設立、小児がん対策におけるヘッドネーションの取組等、大変大切な事業に力を入れていただき感謝致します。特にアラート委員会設立が良かったと心から嬉しく思いました。ライオンズクラブの続く限り会員増強は第一の目標だと思います。しかし、コロナの時代厳しい中、今の会員をしっかりと維持することが最も大切だと思います。齋藤翠R Cを中心にすべての行動の指示をとっていただき、齋藤R C、豊永Z C、竹内が一丸になり、心を一つに。地区委員の皆様方も大変御多忙の中、各例会訪問に参加していただき感謝致します。又、キャビネットの皆様始め、ガバナーの判断で地区年次大会が出来た事は何より大切だと感じました。最後になりますが、四国は一つ、各クラブの益々の発展と皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

一年間の総括



9 R - 2 Z C  
近藤 久恵  
(徳島藍)

一年前に未熟ながらも命をお受けした重責も早いもので一年を迎えようとしています。この一年間は新型コロナウイルスにより、新たなライオンズクラブ活動の模索に始まり、現在においては終息はおろか変異ウイルスとの戦いが今まさに続いております。そんな中ではあります酒井地区ガバナーの方針に添い、We Serve の精神で今おかれている環境の中でライオンズクラブの教えを守ってまいられた各クラブ会長様はじめ会員の皆様のご判断に対してZ Cとしての役割は果たせたのだろうかと自問自答を繰り返す日々を送っております。各クラブ会長様はじめ会員の皆様のご協力のおかげで重責ある任務を終えることに対して衷心より感謝申し上げます。一年間の総括とさせていただきます。ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。





# 60周年記念大会を 盛大に開催出来ました。 新居浜ライオンズクラブ 結成60周年記念大会

2020.11.14 (土)

私の所属する新居浜ライオンズクラブは松山ホストライオンズクラブのスポンサーにより1960年10月4日に結成されました。本年度で結成60周年を迎える事になりました。2020年11月14日(土)に「結成60周年記念大会」を行うと予定を立て、実現に向けて年度当初より結成60周年委員会の組織を立ち上げ準備に励んでおりました。

まずは会長と大会委員長の60周年は60名の会員で迎えようという号令の下、会員会則委員会や会員の努力が実り61名の会員で迎える事が出来るようになりました。

これまで経験した事の無いコロナ禍による自粛ムードの昨今の状況で無事に開催出来るのだろうか、という不安も皆あったと思いますがこういう時だからこそ最善を尽くし元氣良く実行しなければ成らないという気持ちで皆が一丸となって準備に励みました。

あかがねミュージアムを会場に記念式典、記念事業講演は全員のヨットマン岩本光弘氏を迎え「絶望を希望に変える生き方」をテーマに講演いただき、その後ユアーズに場所を移し記念祝宴。それぞれの場所でお付時に御来場いただいた皆様の体温を計らせていただき名簿に体温を記入。何度も体温を計る事となり時間もかかり少し混雑し、申し訳無い気

持ちでありましたが流石、苦情も言われる事なく私どもも気持ちよく受付が出来ました。

そして当クラブも含め約150名の規模で無事に盛大に開催する事が出来ました。

翌日は記念チャリティーゴルフ大会。私もお手伝いをしようと午前7時には新居浜カントリーに入ったのですが既に担当のメンバーにより受付の準備が出来ておりました。

前日も大変だったと思われ、頭の下がる思いでした。皆がそれぞれ受けた役目の責任をきっちり果たし、大会を終える事が出来ました。皆、クタクタになるほど疲れていたと思いますが誇らしく思います。これを機に更に団結力が強まった気がします。

御参集、御協力いただいた皆様、誠に有難うございました。

MC・広報委員長

福山 宏





一隅を照らす 無尽の地域社会へ  
結成60周年記念式典を終えて



# 松山道後ライオンズクラブ 結成60周年記念大会

2021.3.4 (木)

松山道後ライオンズクラブは、昭和35年（1960年）に結成されて以来、ライオンズクラブ最上の目的である「地域社会への奉仕」を実践すべく、物心両面から数多くの奉仕活動を続けて参りました。本年は結成60周年を迎えるにあたり、大会記念事業には特に注力し、これまでの活動を回顧しつつ更なる奉仕活動を強化すべきと考えました。その為に実行委員会は1年前から準備に臨んだしだいです。クラブでは宮崎会長の方針でもある「一隅を照らす」をス

宮崎会長の閉会ゴングの音色で、安堵感が全身に広がったのがつい昨日のことのようです。コロナ禍、大会式典開催が危ぶまれ、昨年12月8日から3月4日に延期となりましたが、無事終えることが出来ました。これも偏にご臨席賜ったご来賓の方々、関係各方面の皆様方、クラブ会員のご尽力の賜物と、誌面をお借りして心より厚くお礼申し上げます。本式典はライオンズクラブとして県内初の、会場とリモートによるオンライン参加の新しい式典様式を取り入れました。結果、講師（四国中央市）をはじめ遠隔地（大分市）の方にはリモート参加をお願いし、会場ご参加においてはホテルのご協力のもと徹底した感染対策の中で人数制限、時間短縮をして式典・講演会を実施致しました。

ローガンに明るく豊かな地域社会の創造に寄与し、健全な青少年育成に日々努めている25団体に對して助成を行うことが出来ました。助成金については、クラブ歴代の諸先輩方が築いてきた「公益信託松山道後ライオンズクラブ生涯学習文化振興基金」及び「会員ドネーション」からの拠出となりました。芸術・文化、体育・スポーツ、国際交流、職業知識・技能、一般教養・環境等の分野における各活動にお役立て頂くことが、我がクラブの総意と考えております。

今後、新型コロナウイルスの収束が見えない限り、社会経済状況や生活環境においてはまだまだ不透明感が増していくでしょう。しかし、我々の活動基本でもある「ワイサーブ」を常に胸に掲げ、一人一人の小さ

また今回特筆すべき点は、結成60周年を迎えて「チャーターメンバー1門屋齊」の在籍です。今日までの60年の永きにわたり我々若輩会員をお導き頂いたことは全会員感謝に堪えません。引き続きのご指導をお願いしたく思っております。

な灯火がやがて大きな光になるよう、次の10年に向けてライオンズ活動に励む所存です。最後にになりましたが、「結成60周年記念式典」に際してのご祝辞・お祝いを多数賜りまして、重ねて厚くお礼申し上げます。誠に有り難うございました。

大会実行委員長 村田 裕司





# 志度ライオンズクラブ 認証55周年記念

2020.10.15 (木)



◎志度LC認証55周年記念例会開催  
2020年10月15日(木)18時30分  
から小松真珠荘において、55周年記念  
例会を開催した。

5月の予定が、コロナ禍の為延期  
されていたが、当日は入会式も行わ  
れ、二重の喜びの日となった。

## 【記念例会】

最初に、物故会員の藤明美洋元会  
長、庵原 稔元会長のご冥福を祈つ  
て黙祷が行われた。

続いて、来賓の大山茂樹さぬき市  
長(公員)から、記念事業としての「市  
民憲章の石碑」のお礼とともにお祝  
いの言葉があった。また、会員でも  
ある三宅伸吾参議院議員からの祝電  
が披露された。

その後、チャーターメンバーの松  
岡 豊会員理事、クラブ功労者とし  
て元会長の石原新造氏、大村一彦氏、  
名倉 毅氏に感謝状と記念品が贈呈  
された。

最後に55周年記念事業が朝田雪香  
会長から報告された。

さぬき市柔道協会に「さぬき市長  
杯柔道大会優勝旗」(2020年3  
月18日贈呈)

さぬき市に「さぬき市市民憲章石  
碑」(2020年4月1日贈呈)

## 【記念講演会】

高松東LC植田康広前会長を講師  
に「陽子線がん治療」についての講  
演があった。

## 【月見例会】(懇親会)

熊野千恵計画委員長の司会で始ま  
り、大村一彦前会長の挨拶、松茸づ  
くしの料理に舌鼓を打ち、コロナ禍  
のなか控えめの懇親の半ばで「果物  
ビンゴゲーム」で盛り上がり、きれ  
いなお花をゲームの成績順にゲット  
し、お団子のお土産とともに小松真  
珠荘様の心づくしの「スキの穂」  
に秋の風情を感じた夜でした。

## ◎志度LC55周年記念事業

### 「さぬき市長杯柔道大会優勝旗」

(2020年3月18日贈呈)

結成55周年記念事業の一環であ  
る、さぬき市柔道協会(さぬき市長  
杯柔道大会)への優勝旗贈呈式に出  
席頂いた富田正二会長始め、坂口徳  
博理事長、子供たち、保護者の皆さ  
ん総勢10名を紹介し、続いて、第52  
回3Z・ゾーン年次会の案内のため  
に例会訪問された多田 努さぬき三  
木LC会長の紹介があった。

大村一彦会長から贈呈式に当た  
り、「昨年の夏には、3Z(5LC)  
として大川柔道協会に3旗の優勝旗  
を寄贈することが出来ましたが、今  
回は志度LC結成55周年記念事業と  
してさぬき市柔道協会に優勝旗を寄  
贈することが出来喜ばしい限りで  
す。選手の方々はこの優勝旗の獲  
得を目指して頑張ってください」と  
の激励の挨拶があり、富田正二会長  
に優勝旗が贈呈された。富田正二会

長から、「子供たちの励みになりま  
す。ありがとうございます」とのお  
礼の挨拶があった。

## ◎志度LC55周年記念事業

### 「さぬき市市民憲章石碑」

(2020年4月1日贈呈)

4月1日(水)午前10時からさぬき市  
役所にて、記念事業のメインである  
「さぬき市市民憲章」の石碑の贈呈  
式及び除幕式を行った。

当日は生憎の雨であったため、市  
役所ロビーにおいて贈呈式を行い、  
大村一彦会長から石碑の贈呈に至っ  
た経緯、またその思い、続いて松岡  
豊実行委員長から55年前の結成時の  
様子等の挨拶があり、会長から大山  
茂樹さぬき市長に目録が贈られ、市  
長からはお礼の挨拶があり、感謝状  
が贈られた。その後小雨となった市  
役所正面玄関東側の設置場所におい  
て除幕式が行われた。



会長 朝田 雪香



# 坂出白峰ライオンズクラブ 結成55周年記念式典を終えて

2021.3.14 (日)

私ども、坂出白峰ライオンズクラブは、令和3年3月14日にクラブ結成55周年記念式典を挙行いたしました。コロナ過の中、クラブでは大会委員長を中心に開催に向けての様々な議論を重ねてきました。本日に開催できるのか？早めに中止を決めたほうがクラブの負担も少なくすむのではないかと、等様な意見がでましたが、やはり最後は嚴重な感染予防対策を取ったうえで開催する方向でやるだけの事はやる、と言う結論に至り開催日も当初の予定から二転三転しましたが、春香る穏やかな季節に開催のはこびとなりました。

当日は香川県知事、坂出市長をはじめ、各界のご来賓各位と酒井公一地区ガバナー並びに地区役員、地区委員のご臨席を賜り盛会にて無事終了することができましたこと、心より感謝申し上げます。さて55周年記念事業の中心として、2018年8月に起きたインドネシア ロンボク島大地震で被災したゲリマツクインダツ第三小学校再建事業を、LCIFの交付金を活用し、オイスカ四国支部また現地のバリライオンズクラブの方々の協力により行い、改めてライオンズクラブの国際的なネットワークのすばらしさを感じる事となりました。その他、坂出市へ防災収納ベンチおよび資材一式、坂出市内小中学校に消毒液オートディスプレイ

サーの寄贈も行いました。たくさんの方々に支えられ55周年を迎えられましたことに会員一同感謝すると共に、スポンサークラブ、ブラザークラブ並びに地域社会や会員相互、家族の絆を大切に、今後人々に愛されるライオンズクラブとして次なる60周年を目指して邁進する所存です。

幹事 長田 恭至





# 土佐ライオンズクラブ 結成55周年記念式典

2021.4.4 (日)

4月4日(日)、私も土佐ライオンズクラブは、酒井公一地区ガバナーをはじめご来賓の皆さま、更にはスポンサークラブの高知桂LC並びにブラザークラブの皆さまのご出席を賜り「土佐市複合文化施設つないで」に於いて結成55周年記念式典を開催致しました。

通例であれば、6・7リジョンの各クラブに加え、姉妹クラブである北海道・江別LCからも多くの方々にご列席を賜るところでありましたが、今もなお猛威を振るう新型コロナウイルスの影響により、ご招待を2ゾーン内のクラブのみに限定させて頂きました。また、会場についてもソーシャルディスタンスが確保できるよう細心の注意を払い、時節柄に応じたおもてなしを心掛けました。

この度の記念事業と致しましては、LCIF並びにライオンズクエスト、献眼特別委員会・骨髄バンク特別委員会への献金及び支援に加えて、地域への奉仕をさせて頂きました。

まずは、青少年育成支援として、土佐市内の小中学校計12校へ備品購入支援を致しました。過去の周年事業では子ども達の夢を叶えることを目的に講演等を行っておりましたが、コロナ禍の中で密になるリスク等も考慮し、各校から今必要なもの

をリストアップしてもらい、子ども達の学校生活がより良くなるようにと、購入の支援をさせて頂くことに致しました。加えて、市内で子ども食堂を実施されている土佐市社会福祉協議会並びに地元の少年サッカーチームへの支援もさせて頂きました。

また、市民の交通安全に貢献している交通安全協会土佐支部へは広報車を贈呈させて頂き、安心安全な市民生活のために日夜尽力頂いている土佐市消防本部へは消防用ドローンの贈呈もさせて頂きました。



今回の周年行事を通して、クラブメンバーの和を大切にしつつ、地域に根差した奉仕活動を続けてきた諸先輩方の伝統と功績を改めて尊ぶと共に、未来に向かって一層の精進をすることをクラブメンバー一同、心に誓ったところであります。キャビネット並びにブラザークラブの皆さまには、今後とも一層のご指導とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

会長 佐々木 泰介



集合写真 (撮影時のみマスク取外し)



佐々木会長挨拶



酒井地区ガバナー祝辞



# 高松葵ライオンズクラブ 結成50周年記念式典

2021.5.16 (日)

去る令和3年5月16日、高松国際ホテル「瀬戸の間」において、我々高松葵ライオンズクラブは結成50周年記念式典を開催いたしました。

当初は昨年11月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染者が拡大していた為に延期。今回も直前になって感染が拡大してきましたが、祝宴を中止、検温・手指消毒の徹底、会場レイアウトの工夫等々考え得る対策を全て行う事で、開催を決定しました。

その様な厳戒態勢での式典でしたが、酒井公一地区ガバナー、蔵本守雄地区ガバナーエレクトをはじめ多くのご来賓の方々、そして同じ4Rに所属するブラザークラブの方々にご臨席賜り盛会にて無事終了できましたこと、会員一同心より感謝申し上げます。

今期はコロナの影響で多くの行事やアクティビティが中止となりましたが、この50年、先輩ライオンの方々が繋いできた奉仕の精神を守り、そして次の50年へと繋ぐべく会員全員が知恵を絞り、出来るアクティビティを探して積極的に取り組み、細々とではありますが活動を続けて参りました。

正直、50年という大きな節目の年がこのような大変な年になるとは、誰も想像していませんでした。しかし、そのような状況下で活動を続け

て行く事が、クラブとして、また一人のライオンとして、ライオニズムを見つめ直す良いきっかけになったとも思います。

まだまだ収束が見えない状況ですが、この1年の経験を糧に会員一同結束し、地域社会から愛され信頼さ

れる奉仕活動に邁進して参りますので、今後とも皆様方のより一層のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

会長 南 臣憲





# 八栗ライオンズクラブ 結成40周年記念式典

2021.4.18 (日)



八栗ライオンズクラブの奉仕地域の「木太地区」と「古高松地区」は新川・春日川には生まれ、海抜の低い土地で地域の方は不安を持って暮らしています。木太地区コミュニティ協議会の方々は、自分たちの足で災害時に避難する経路を歩き、最適の避難場所はどこかを明確にしま

八栗ライオンズクラブは1981年4月25日に高松東ライオンズクラブのスポンサーにより、日本で2,500番目に結成されました。今年「東日本大震災」が発生し10年目になります。それ以後、今まで全国で地震や、集中豪雨が多発し、全国で甚大な被害が出ています。また、30年以内に70〜80%の確率で起こるといわれている「南海トラフ大地震」に備える必要に迫られています。

した。行政だけに頼らない『自分たちの防災マップ』を作ろうとしました。

クラブ結成の記念事業は松本会長を中心に、この地域の人達の手助けをしようということになりました。また、同じ危険地域の古高松地区コミュニティ協議会に対して、「防災に関するお手伝いは無いですか」と尋ねたところ「防災マップを作ることは決まっているが、資金が足りない」とお返事がありました。古高松地区の人も同じ様に行動していることを知りました。こちらは、倉敷天領LCとの合同事業としてお手伝いすることにしました。

4月18日の記念式典において「地域防災研究」の第一人者、香川大学地域強靱化研究センターの特命准教授の磯打千雅子（工学博士）先生に記念講演をお願いしました。参加者も浜田知事、大西市長、ブラザークラブの方々のほかに、木太・古高松両地区の皆さんや、長年付き合いのある特定非営利法人「ほのほのワークハウス」の皆さんが参加してくれました。「自分の命は自分で守る」防災の基本を改めて確認し、非常に充実した時間でした。

幹事 有岡 信次





# 新居浜ひうちライオンズクラブ 25周年記念大会を終えて

2021.3.21 (日)

私たち新居浜ひうちライオンズクラブは1996年2月11日、新居浜別子ライオンズクラブのスポンサーのもと、日本で3228番目、四国で145番目、新居浜では4番目のクラブとして、52名のチャーターメンバーにより結成されました。以来25年に渡り、ライオンズのもと、地域に根差した奉仕活動を行ってまいりました。現在、会員47名(女性会員10名)のクラブです。

昨年初頭からの新型コロナウイルスによるパンデミック。私も新居浜ひうちライオンズクラブにおいても例会の運営、各種事業において幾多の決断を強いられました。

しかし、コロナ禍においても、青少年ソフトボール大会の開催、市内の中学校2校において腰塚勇人氏による『命の授業』ドリームメーカーと今を生きる』を演題とした記念講演、マリナーパーク新居浜へ遊具の寄贈、アラート委員会に支援金の贈呈、小学生バレーボール大会、新居浜市中学生の吹奏楽部3校合同コンサート開催をすることができました。中でも腰塚勇人氏の講演会では、コロナ禍における閉塞的な雰囲気



打破するかのように、中学生に向けて命の大切さを伝えることができた大変すばらしい事業となりました。

また、25周年記念大会においては、「未来を見据え 和 笑 輪」の大会テーマのもと、3月20日に記念ゴルフ大会を、翌日には記念式典を開催いたしました。式典は酒井公一地区ガバナーをはじめ1ゾーンのライオンズのご来賓の方々、1ゾーンブラザークラブの三役の方々にご臨席を賜り、クラブ内の活動表彰や感謝状の贈呈を中心に開催させていただきました。

記念大会自体は、縮小開催にはなったものの、25年の節目を、会員とともに確実に共有できたのではないかと思います。式典での女性会員の着物姿には縮小開催と思えない華やかさを感じ、忘れられない日となりました。

今後新居浜ひうちライオンズクラブは、諸先輩からの伝統を引き継ぎ、We Serve 友愛と相互理解の精神のもと、日々努力精進して参ります。皆様からいただいたご厚情にあらためて感謝するとともに、これから新たな一歩を踏み出す我がクラブに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会長 越智 慈子





# 徳島マリンピアライオンズクラブ 結成25周年記念式典

2021.4.25 (日)

令和3年4月25日徳島マリンピアライオンズクラブ結成25周年記念式典の開催にあたり、ご来賓の皆様をはじめライオンズクラブ関係者の皆様には、公私ご多用のところ、また徳島でもコロナ禍が続く中、多数のご出席を賜り誠にありがとうございます。

徳島県のマリンピア地区は徳島市の東端に位置し、関西方面への海上航路の拠点として、また徳島の新たな産業団地として発展してきました。現在では、徳島県の東部を縦断する四国横断自動車道の工事が進められ、本年3月には徳島南部自動車道として徳島沖洲ICから徳島津田ICが開通しました。

このようなマリンピア地区の発展の中で、当クラブは1996年6月7日に結成され、徳島東ライオンズクラブ様がスポンサーになっていただき同年9月23日に認証状の伝達式を行いました。結成当時から現在まで、多くの会員の皆様のご尽力により、本年2021年をもって結成25周年を迎えることとなりました。会員の皆様をはじめ、ご家族、関係者の皆様には、改めて厚く御礼を申し上げます。

交通、流通、産業の拠点であるマリンピア地区を中心とした企業や事業所の経営者達が集まって結成された当クラブは、更に新しい発展と進

歩を続けるために、地域社会に貢献するというマリンピアライオンズクラブの精神を未来へ、そして次の世代へつなげて行かなければなりません。

この思いを込めて、今年度の会長スローガンは「未来につなげようマリンピアの精神を We Serve」このスローガンの下、25周年記念事業としては、昨年から新型コロナウイルス対策として、徳島県へA I 認知機能搭載の非接触型温度検知器を贈呈いたしました。文化の森総合公園の開園30周年記念として施設内に設置していただき、県民の皆様の感染対策や防犯対策に有効にご利用されていると伺っています。

また、マリンピア沖洲産業団地内に津波避難ビルマップを製作設置し、徳島市へ寄贈いたしました。いつかは発生するであろう南海トラフ地震に備え、日頃からの避難意識の向上のためにご活用いただけたら幸いです。

また、継続アクティビティーとして、沖洲小学校のマリンピア文庫に5万円の図書を寄付致しました。その他にも献血の推進、マリンピア内の公園清掃と、徳島マリンピア内の公園清掃と、徳島マリンピアライオンズクラブは、これからも時代に即したライオンズの高揚に努め、会員一丸となりマリンピア

イオンズクラブらしい奉仕活動に努めて参ります

25周年式典委員長 仁木 孝教



# LCIF

## 地区シェアリング交付金を活用した取り組み

国際協会336-A地区においては、2020～2021年度における新たな取り組みとしてLCIFの地区シェアリング交付金を活用した奉仕活動を実施しました。

### 1. LCIF地区シェアリング交付金

コミュニティにおけるライオンズの人道奉仕活動を支援する新しい交付金として、2018年1月、LCIF理事会で「地区及びクラブシェアリング交付金」（アルファベットでの略称は「DCG」）が設置されました。これは、前年度にLCIFに対して無指定で提供した寄付金額に応じて、地区やクラブが行う人道支援事業に対して申請によりLCIFから交付されるものです。

交付される可能額は、寄付金額の15%ですが、申請資格の最低累計寄付額は、クラブの場合は5,000ドル、地区の場合は10,000ドルとなっています。

#### (1) クラブシェアリング交付金

クラブは、1会計年度内にLCIFに5,000ドル以上を寄付することにより要件を満たします。クラブが受給できる資金は、クラブの会員またはクラブ自体からの寄付の15%です。

#### (2) 地区シェアリング交付金

地区は、1会計年度内にLCIFに10,000ドル以上を寄付した場合に要件を満たします。地区

が受給できる資金は、地区自体からの寄付と5,000ドルの最低額を満たさなかった地区内クラブからの寄付を加算した額の15%と、受給資格のあるクラブから地区に資金が譲渡された場合にはその資金です。

### 2. 地区シェアリング交付金を活用した事業

国際協会336-A地区の取り組みとして、LCIF地区シェアリング交付金を活用して以下の事業を展開しています。

**(1) 電動フォークリフト、発電機の寄贈**  
災害時における支援助物資等の仕訳、搬送等に活用するため、電動フォークリフト1台及び発電機1台を高知市に寄贈しました。

なお、当該事業はアラート（災害支援）事業でもあることから、一部を「アラート基金」からの拠出により実施しています。

#### (2) 公衆用トイレの設置

高知県本山町の北部に位置する「白髪山」の登山口に公衆用トイレを設置することとしています。

#### (3) 新型コロナウイルス感染症対策

① 愛媛県に、県庁と保健所のネットワーク形成のための電子黒板セット（4台）を寄贈。

② 香川県に、自動温度測定システム（5台）を寄贈。

③ 高知県に、顔認識温度検知カメラ（10台）を寄贈。

④ 徳島県に、パルスオキシメーター（血中酸素測定器）（80台）、顔認識温度検知カメラ（2台）を寄贈。

なお、当該事業はアラート（災害支援）事業でもあることから、一部を「アラート基金」からの拠出により実施しています。

環境保全・保健福祉・GST・アラート委員会  
副委員長 橋本 孝志

## 電動フォークリフト寄贈式

2021.4.5(月) 高知市役所にて





## 新型コロナウイルス感染症対策物品の贈呈式

2021.5.6 (木) 香川県庁にて



2021.5.17 (月) 高知県庁にて



2021.5.19 (水) 徳島県庁にて



編  
集  
後  
記

早いもので昨年6月にWEB会議から始まった高知キャビネットも今期の事業を終えようとしています。当委員会においてはリモート会議などコロナ禍での活動でしたが、無事高松キャビネットへ引き継ぐ事ができました。336-A地区の皆様にお礼申し上げます。また委員の皆様には最後まで原稿手配や校正などをしていただき感謝申し上げます。来期もコロナに負けず頑張りましょう。

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員長 酒井 陽典

### 【お詫び】

四国113号の物故会員に掲載しました、森下様のお名前が間違っていました。右記が正しいお名前です。お詫びして訂正いたします。

- ① 森下 達雄 (86歳)
- ② 2R-3Z 伊予三島
- ③ 1979年10月18日
- ④ 2020年11月25日

“次期開催のご案内”

ライオンズクラブ国際協会336-A地区

第68回

# 「地区年次大会」in高松



2022年4月23日(土)・24日(日)

さぬきえーとこ、  
うどんの国へ、来~まい、食べまい!

# We Serve!

- ◎記念ゴルフ大会／鮎滝カントリークラブ 高松グランドカントリークラブ
- ◎前夜祭「336-A地区の夕べ」／JRホテルクレメント高松 3階飛天
- ◎大会式典／レグザムホール 大ホール棟 2階大ホール
- ◎ガバナー晩餐会／JRホテルクレメント高松 3階飛天



2020～2021年  
ライオンズクラブ国際協会  
336-A地区 高知キャビネット事務局

**We Serve**

〒780-0816 高知県高知市南宝永町4-2  
高知プリンスホテル 4F エメラルド内  
TEL 088-855-9244 FAX 088-855-9361  
E-mail kochicab@lci336a.org